

授業科目名	看護学研究方法論		単位数	2単位	時間数	
授業科目名英字	Methodology of Nursing Research		必修・選択	選択（CNS必修）	受講対象年	1年次
科目コード	9502010	授業の形式	講義	講義室等	第6講義室	
開設学期等	前期 水曜日 11・12時限					
【担当教員名】	【職名/所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名/所属】	【研究室番号】
佐々木真紀子	教授/保健学専攻 基礎看護学講座	B-203	018-884-6512	篠原ひとみ	教授/保健学専攻 母子看護学講座	B-206
兒玉英也	教授/保健学専攻 母子看護学講座	C-114	018-884-6513	中村順子	教授/保健学専攻 地域生活支援看護学講座	B-209
長谷部真木子	准教授/保健学専攻 基礎看護学講座	B-207	018-884-6514	工藤由紀子	講師/保健学専攻 基礎看護学講座	B-205
授業の目的・到達目標						
<p>「授業の目的」          専門看護師や指導の立場にある看護師が専門知識と技術の向上や開発を図り、高度な看護実践を展開するために必要な研究活動に必要な能力を高めることを目的とする。</p> <p>「到達目標」          1. 看護における研究の意義と特徴について述べるができる。          2. 研究プロセス、研究における理論・概念枠組みの重要性、研究デザインの種類と方法の概要を述べるができる。          3. 量的研究方法として、実験研究の原則・手法、非実験研究におけるデータ収集方法における留意点を述べるができる。          4. 質的研究方法として、フィールドリサーチに焦点をあて、面接法、参加観察法を述べるができる。          5. 臨床における事象に関する先行研究論文を科学的に分析し、理論的な根拠を持って他者へ伝達できる。</p>						
授業の概要と進行予定及び進め方						
講義および文献検討と発表による。						
成績評価の方法		教科書・参考書・参考文献等				
レポート・発表等の課題50%、授業の参加態度50%で評価する。		教科書等	書籍名	著者	出版社	
		教科書	『看護研究-原理と方法-第2版』	D.Fポーター	医学書院	
		参考文献	『はじめて学ぶ質的研究法』	L. Richards & J. M. Morse	医歯薬出版(株).	
		参考文献	『質的研究の基礎, グラウンデッド・セオリー開発の技法と手順(第3版)』	Corbin, J & Strauss, A. 操華子・森岡崇訳	医学書院	
		参考文献	『グラウンデッド・セオリー 看護の質的研究のために』	Chenitz, W.C. & Swanson, J.M. 樋口康子他	医学書院	
		参考文献	『よくわかる質的研究の進め方, まとめ方』	グレッグ美鈴 他編	医歯薬出版(株).	
		参考文献	『ナースのための質的研究入門第2版』	ホロウェイ・ウィラー	医学書院	
コメント						
授業展開		Web受講	授業内容			
第1回 5月13日	11-12時限	×	看護研究の意義、研究目的に応じた研究の種類 【時間外学習】：テキスト「看護研究 原理と方法 第2版」第1章を読むこと。			
【担当】長谷部真木子						
第2回 5月20日	11-12時限	×	・看護研究における倫理的課題と配慮 「人を対象とする医学研究に関する倫理的指針」、研究倫理に関する研修、研究における情報管理・個人情報保護法、インフォームド・コンセントの在り方 【時間外学習】：テキスト「看護研究 原理と方法 第2版」第7章を読み、分担ページについて発表の準備をすること。			
【担当】長谷部真木子						
第3回 5月27日	11-12時限	×	・研究計画立案の基礎 看護実践の疑問から研究疑問(リサーチエスジョン)への絞り方、研究疑問のレベルと研究デザイン、研究における概念枠組み・理論的枠組みとは何か 【時間外学習】：テキスト「看護研究 原理と方法 第2版」第25章を読むこと			
【担当】長谷部真木子						
第4回 6月3日	11-12時限	×	・研究論文の読み方(論文クリティックの基礎) 【時間外学習】：テキスト「看護研究-原理と方法-」の第5章を事前に読んでおくこと。論文クリティックとは何か理解しておくこと。			
【担当】篠原ひとみ						
第5回 6月10日	11-12時限	×	・調査研究の基礎(調査設計から質問紙の構成まで) 【時間外学習】：テキスト「看護研究-原理と方法-」の第8.9章を事前に読んでおくこと。授業で配布した文献のクリティックをした上で授業に臨むこと。			
【担当】篠原ひとみ						
第6回 6月17日	11-12時限	×	・量的研究の論文を題材として、当該研究の研究目的、研究デザイン、データ収集方法と分析方法の妥当性を検討する。 【時間外学習】：研究計画書(不十分でも良い、仮の研究テーマでも良い)を作成した上で授業に臨むこと。			
【担当】篠原ひとみ						
第7回 6月24日	11-12時限	×	・質的研究法概論(質的研究とは、質的研究の種類、質的研究の選択、「気になっている、或いは心に残っている看護現象は」「自身の研究の問い」と研究デザイン 【時間外学習】：研究デザインについてテキストを読んで復習する。研究デザインは何を根拠として選択するのが自分の言葉で話せるようにしておく。			
【担当】中村順子						
第8回 7月1日	11-12時限	×	・質的記述研究のプロセス1 サンプリング・データ収集、インタビュー、分析と継続比較・抽象化、真実性の確保、概念の導出と構造化 【時間外学習】：本日の授業内容を振り返り質的研究デザインを選択した方がよいと思われる看護現象を再度実践の中から探す。			
【担当】中村順子						
第9回 7月8日	11-12時限	×	・質的記述研究のプロセス2 インタビュー演習、インタビュアーとインタビュイーになったの感想、インタビュー時の自己の傾向についての振り返り、リッチなデータの収集について 【時間外学習】：質的研究デザインの研究論文を1本選択し、定時されたガイドに則ってクリティックを行ってくる。			
【担当】中村順子						
第10回 7月15日	11-12時限	×	・研究論文のクリティック 【時間外学習】：本日の授業内容を振り返り、質的研究デザインの論文を後1本読んでみる。			
【担当】中村順子						
第11回 7月22日	11-12時限	×	・実験研究計画法の基礎 サンプリング、サンプルサイズの決定方法、データ収集と分析法 【時間外学習】：テキスト「看護研究-原理と方法-」第2版 第8章の実験(p176-191)および第13章 標本抽出のデザイン(p298-324)を読んで講義に臨むこと。			
【担当】工藤由紀子						
第12回 7月29日	11-12時限	×	・実験研究計画法の基礎 サンプリング、サンプルサイズの決定方法、データ収集と分析法 【時間外学習】：提示した論文のサンプリング、サンプルサイズ、データ収集方法、分析方法について考察し発表する。			
【担当】工藤由紀子						
第13回 8月5日	11-12時限	×	・実験研究の論文検討 実験研究の論文を題材として、当該研究の研究目的、研究デザイン、データ収集方法と分析方法の妥当性を検討する 【時間外学習】：講義にはWebClassの資料を読んで予備知識を得てから受講してください。自分の研究課題にかかわる内容があれば、質問を準備しておいてください。			
【担当】兒玉英也						
第14回 8月12日	11-12時限	×	・臨床現場に看護研究を適用する方法 エビデンスを臨床に適用する方法(Evidence-Based Practiceとは、エビデンスを臨床に適用するステップ、ステラモデル、アイオワモデルの活用例) 【時間外学習】：テキスト「看護研究-原理と方法-」第2版 第24章 研究結果の要約と共有(p615-646)を読み、分担ページについて			
【担当】佐々木真紀子						
第15回 8月19日	11-12時限	×	・研究結果の要約と共有(論文のまとめ方、他) ・プレゼンテーションの方法と評価 【時間外学習】：プレゼンテーション用のスライドを事前に作成する。			
【担当】佐々木真紀子						